

登録税法中改正法律案外一件特別委員會議事速記録第二號

付託議案
礦業法中改正法律案

昭和二年三月二十二日(火曜日)午後二時
二十七分開會

○委員長(添田壽一君) ソレデハ是カラ開會ヲ致シマスガ、一應商工大臣ヨリ此案ノ御提出ノ理由ヲ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(藤澤幾之輔君) 本案ハ甚ダ簡單ナ法案デアリマシテ、礦業法中左ノ通改正ス、第八十二條中「營業稅」ノ下ニ「及營業收益稅」ヲ加フ「斯フ云フ法案デアリマシテ、及營業收益稅」ノ六字ガ加ハルノデアリマス、其理由ハ既ニ御解リ下スツテ居ル通り、大正十五年ノ三月營業收益稅法ヲ制定イタシマシテ、ソレト同時ニ營業稅法ヲ廢シマシテ、依ッテ實質上營業收益稅ヲ以テ營業稅ニ代ヘタノデアリマス、既ニ然レバ今年一月一日ヨリ新稅法ノ實施ヲ公布ニ至、タノデアリマスカラ、礦業法ノ第八十二條ニ「礦業權者ニハ其ノ礦業ニ付營業稅ヲ課セス」ト斯ウアリマスモノヲ、斯様ニ改正イタシマスノガ至當デアリマス、唯今申上ゲマシタ通りナラバ、何故ニ營業稅ナル文字ヲ「營業收益稅ト改ム」ト致サヌカト申シマスツ云フト、是ハ御承知ノ通り營業稅ニ付キマシテハ、樺太ニ於テ特別立法ガ制定サレテ居ルノデアリマス、明治四十年法律第二十一號樺太ニ於ケル租稅ニ關スル件、

「第一條、樺太ニ於テハ左ニ掲グル諸稅ヲ賦課徵收ス」、其第三號ニ營業稅ト云フモノガアリマス、ソレデ此特別立法ニ營業稅ト云フモノガアリマシテ、サウシテ樺太ニ於テハ此營業稅ガ營業收益稅ニ改正サレテ居ナ

イノデアリマス、現ニ存置サレテアルノデアリマス、ソコデ營業稅ヲ營業收益稅ト改ムルトスル改正ガ出來マセヌ、而モ此礦業法ハ内地ト樺太トヲ問ハズ施行サレル法律デアアルノデアリマスカラ、營業稅ヲ存置イタシマシテ、及營業收益稅ト斯様ニ改正イタシタイト、斯ウ云フノデアリマス

○藤田四郎君 御尋ネイタシマス前ニ一度伺ヒタイノデゴザイマスガ、昨年既ニ營業稅法ノ御改正ニナリマシタノデゴザイマスカラ、此法律ナドハ當然其時ニ御改正ニナルベキモノデハナカラウカト思フノデアリマス、又此度此法律ヲ御出シタルノニ付テ、此種ノ法律ハ現ニ樺太ナドモモウ既ニ早ク濟ミマシタノデゴザイマス、是ダケヲ斯ウ云フ會期切迫シタ節ニ出スト云フノハ、ドウ云フ理由デゴザイマセウカト云フコトガ一點、ソレカラ唯今御説明ニナリマシタ營業收益稅ト云フモノ、外ニ營業稅ヲ殘スコトニ付テノ御説明デゴザイマスガ、樺太ノ方ノ營業稅ガ此間既ニ本委員會ニ於テ營業收益稅ト直シマシタ、尤モ直シマシタケレドモ、當年ダケハ既ニ合ハナイカラ營業稅ト云フモノデ行クト云フ特別、賦課規則ガアツカト思ヒマシタ、デ其御趣意カラ言フト云フト、モウ既ニ或ハ御裁可ニナツテ法律ガ出ルノハ是ヨリ先ヘ出テシマウ、法律デ本體ノ既ニ營業稅ト云フモノハナクナツテシマフ、此法律ハ順當ニ行ケバ政府デ御都合ナサツテ、是ト一緒ニ改ムルコトガ出來マセウケレドモ、片方ハ既ニ早ク濟マシテシマツテ、此法律デ營業稅ト云フモノハナクナツテシマフ、賦課規則ノ所デ營業稅ト云フ

モノハ今年ダケハ行フト云フコトニ書イテアルコトデゴザイマスカラ、如何ニモ直ス上ニモ既ニ形體ヲ失フ所ノモノヲ殘スヤウナ形ニナルノデアリマスカラ、ドウ云フモノデゴザイマセウカ、又營業稅ハ確カ此法律ノ事柄ハ礦業稅ト云フモノハアルノデ、營業稅、營業收益稅ニ關係ノ無イコトヲ極メタノデアリマスカラ差支ナイコトデアリマスケレドモ、大體營業稅ハ能ク知リマセヌケレドモ、或ハ曆年ニ依ッテ徵收スルモノデナイカト思フノデアリマスカラ、御出シタルナラバモウ少シ早く御出シタルベキ性質ノモノデナイカト思フノデアリマス、其點ヲ併セテ御示シテ願ヒタイ

○國務大臣(藤澤幾之輔君) 御意見ノ如ク第五十一議會ニ主タル稅法改正案ト共ニ提出イタスノガ穩當デアツタト私モ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、唯併ナガラ當時他ノ改正ノ事項ト共ニ斯様ナ改正ヲ致シマス必要ノアツタモノハ序デト申シテハ如何デアリマスガ、改正サレタモノモアツタノデアリマスガ、大體カラ申セバ各省關係ノ斯ウ云フ種類ノモノハ次ノ議會デモ遅クハナイデハアルマイカ、斯ウ云フヤウナ話シ合ヒモアツタサウデアリマシテ、御承知ノ通り五十一議會ハ諸種ノ重要ナル法律案ガ山積イタシタヤウナ時代デアツタモノデアリマスカラ、自然今日ニ及ンダノデアリマス、又假令簡單ナ法律デアリマシテモ、モウ少シ早く提出イタセバ宜シカッタノデアリマスカ、他ノ法案ノ審査ノ爲ニ迫ハレマシテ自然後廻シニナツタト、斯様ナ譯デアリマシテ、此點ニ付テハ誠ニ申譯ノナイコトデアアルノデ

アリマス、ソレカラ此樺太ニ於ケル營業稅法ガ改正セラレ兩院ヲ通過シテ居ル今日デアルカラト云フ御意見、一應御尤モデアリマスガ、併シ御言葉ノ中ニモアリマシタ通り、其改正ハ昭和三年カラ實施サレルノデアリマシテ、尙ホ一年ノ期間ガアルノデアリマシテ、ソレカラ又他ノ立法例ニ於キマシテモ、産業組合法ナドニ於キマシテモ第六條ニ「産業組合ニハ所得稅營業收益稅及營業稅ヲ課セス」ト斯ウ云フヤウナ風ニ矢張り改正イタシテ居リマス、製鐵所獎勵法ノ第二條ナドニモ矢張り製鐵業ニ付テ營業稅、營業收益稅及所得稅ヲ免除スト、斯様ニ改正イタシテ居リマスヤウナ次第デアリマシテ、矢張り此度ノモ其立法例ニ倣シタ譯デアリマシテ、他ニ何等意味ノナイモノデゴザイマス

○藤田四郎君 本案ノ事柄ニ別ニ反對スル譯デモゴザイマセヌガ、尙ホ申上ゲテ伺ヒタイノデゴザイマスカラ、大體既ニ一年ノ間斯ウ云フ法文ガ改正サレズニ差支ナク來タツタノデアツテ、法文モ既ニ三箇月ノ間ト云フモノハ差支ナク來テ居ルノデアリマス、シテ見レバ事實上、礦業稅ヲ課スルモノハ營業稅トカ營業收益稅ト云フモノヲ課セヌト云フノハ、殆ド此日本ノ法制ノ歴史ニ於テ原則ニナル位ニモウナツテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ三字カ四字ノモノヲ加ヘヌデモ實體ニ於テハ差支ナイヤウニモ思フノデアリマス、デゴザンスカラ殊更ニ一律ニ最初ニ御出シタルレバ宜イノデスケレドモ、是ダケ一ツ飛離レテ御出シタルト云フノナラバ來年ニナスツテモ差支ナイ、

即チ事實上ニ差支ナク行ハレル事柄デアリ
マスカラ、法文ノ整理トカ何ト云フ關係
上カラ或ハ御出シニナル機會モアラウト思
ヒマスガ、如何ニモ必要ノナササウニ思フ、
又御説明ニナツタ樺太ノヤウナモノハ、ハヤ
來年ニナレバ無クナルト云フヤウナ形ニナ
リマスマイカ、却テ先刻御説明ニナリマシ
タ産業組合或ハ製鐵所獎勵法ノ如キハ、
即チ前ノ此提案當時ハ其言葉ヲ必要トシタ
ノデアル、今日ニ於テハ其言葉ヲ必要トシ
ナイヤウナ形ニナツタノデゴザイマスガ、
敢ヘテ此法案ノ成立ニ故障ヲ申ス者デハゴ
ザイマセヌ、是ハ賛成イタスノデアリマス
ガ、此委員會トシテハ能ク其趣ヲ承ハッテ
置キタイト思ヒマス

○國務大臣(藤澤幾之輔君) 御意見ハ誠ニ
御尤モデアリマシテ、外ノ矢張り斯様ナ問
題ニ付キマシテハ、營業稅ノ變タモノノガ
即チ營業收益稅デアルカラト云フ議論モ大
分アツタノデアリマスルシ、又私自ラモ實質
上營業稅ニ營業收益稅ガ變タ趣旨ヲ申上
ゲテ居ルノデアリマスカラ、左様ニ之ヲ考
ヘルト云フコトハ私共ハ必シモ差支ガアル
トノミ申上ゲルノデハナイノデアリマス
ガ、併ナガラヤカマシク此法律家ニ論ジラ
レマスト云フト、營業稅ト營業收益稅ハ同
一ノモノデアるか否カト云フヤウナ議論ニ
ナリマス、是ハナカ／＼ムジカシイ問題
ニナツテ參リマス虞ガアルノデアリマス、サ
ウシテ他ノ法律モ此趣旨ニ依ッテ整理ヲ致
シテ居ルノデアリマスシ、又議論ノアルモ
ノヲ議論ノ儘ニ後ニ送ッテ參ルト云フコト
モ餘リ面白イコトデモナイカラシテ、矢張
リ是ハ改正イタスノガ正シカラウ、斯ウ云
フ意味デ此法案ヲ提出イタシタノデアリマ
シテ、隨分營業稅ト營業收益稅ト云フ問題
ニ付キマシテハ他ノ法律ナドニモアリマス

所デアリマスガ、ナカ／＼ヤカマシイ議論
ガアルノデアリマス、ドウゾ此案ハ此儘御
通過ヲ願ヒタイト思ヒマス

○藤田四郎君 先刻御説明ニナリマシタ
ガ、此會期ノ終リニナツテ是ダケ出タ點ニ
付テハマダ尙ホ私ハ納得セヌ所ガアリマス
カラ、モウ一應ソレヲ説明ヲ願ヒマス

○國務大臣(藤澤幾之輔君) 會期ガ切迫イ
タシテカラ提出イタシタニ付キマシテハ先
刻御説明ヲ居タノデアリマスガ、何シロ
簡單ナ法律デアルカラシテ、綜合ハシテ貫
テ早ク審査ヲ遂ゲテ出セバ宜イ筈ノモノニ
ハ相違アリマセヌケレドモ、色々ナ重要法
要ガ澤山商工省ニアツタモノデアリマスカ
ラ、サウシテ商工省ダケデアリマセヌデ、
司法省ノ關係、法制局ノ關係デ、色々ソチ
コチ廻リ廻ッテ居ル中ニトウ／＼提出イタ
シ兼ネテ仕舞タヤウナ譯デアリマス、事情
ハ其通りデアリマスカラ、ドウカ御諒解ヲ
御願ヲ致シタイト思ヒマス

○藤田四郎君 モウ此上質問ヲ致シテモ致
シ方ナイト思ヒマスカラ、決議ヲサレマス
ルナラバ一應希望ヲ申上ゲタイト思ヒマス
○委員長(添田壽一君) 委員ノ御方ニ於キ
マシテ質疑ガ御有リニナル方ガアリマスレ
バ此際御述ヲ願ヒタイト思ヒマス

(「ナシ」ト呼フ者アリ)
○委員長(添田壽一君) ソレデハ討議ニ移
リマシテ、先ツ藤田君ノ御發言ヲ願ヒマス
○藤田四郎君 本案ハ無論是ハ現行ノ制度
ニ於テ御改正ニナルコトハ適當ト思ヒマス
ルカラ是ハ賛成イタシマス、併シ此際本會
ニ於キマシテ皆サンノ御同意ヲ得マシテ一
ツ希望ヲ申上ゲタイト思フノデゴザンスル
ガ、既ニ法律ヲ御改正ニナルヤウナ時ハ、
既ニ昨年此法律ヲ改正セラルベキモノデア
ル、ソレヲ此議會ノ末ニ出ルト云フヤウナ

コトハ是ハ色々外ニモ御都合モアリマセウ
ケレドモ、誠ニ三十分カ一時間デ出來ル案
デアルノデ、ソレヲ斯ウ云フヤウニ遅ラシ
テ出スト云フコトハ甚ダ遺憾デアリマスカ
ラ、商工大臣ニ御願ヒシテモ致シ方ナイト
思ヒマスガ、本會トシテハ斯ウ云フヤウナ
案ト云フモノハ矢張り能ク統一シテ、ドウ
カ調査シテ、或ハ整理シテ御一緒ニ出スヤ
ウニ願ヒタイ、又サウシテ遺漏ノナイヤウ
ニシテ提案ニナルヤウニ願ヒタウゴザン
ス、其コトダケヲドウカ皆様ノ御同意ヲ得
テ委員長カラ本會議ニ御報告願ヒタイ

○委員長(添田壽一君) 唯今藤田委員ノ御
希望ノ點ハ本議會ニ之ヲ述べマスト云フ
コトヲ併セテ皆様御異議ゴザイマスマイカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○委員長(添田壽一君) ソレデハ其通りニ
取計ヒマス、外ニ御發言ゴザイマスマイデ
セウカ、ソレデハ是デ散會イタシマス
午後二時四十五分散會
出席者左ノ如シ

委員長	添田 壽一君
副委員長	田村駒治郎君
委員	子爵牧野 忠篤君
	藤田 四郎君
	室田 義文君
	尾崎元次郎君
國務大臣	藤澤幾之輔君
商工大臣	大藏省主稅局長 黑田 英雄君
政府委員	商工書記官 吉野 信次君